

★ 世界平和パゴダ登録有形文化財認定記念 ★

# パゴダから、平和の歌声を。



東アジア文化都市  
北九州2020-2  
CULTURE CITY OF EAST ASIA IN KITAKYUSHU  
フレンドシップ事業



## 関門海峡合唱団「平和と祈りの合唱コンサート」

# 2021.11.3 [水・祝]

◆開場13:30 開演14:00～

会 場：世界平和パゴダ

門司区大字門司 3251-4(めかり山頂)  
めかり公園 駐車場より徒歩1分

チケット：1,000円(収益をパゴダに寄付)

※入場制限・マスク着用・アルコール消毒・ソーシャルディスタンス



鶴光地・門司港レトロで有名な門司港からは戦前200万人もの若者たちが船で戦地へ赴きました。世界平和パゴダは1958年に、戦地ビルマから帰還された故・市原瑞麿氏の発願から、旧門司市とミャンマー政府仏教会との合意により、戦没者の慰霊・日本ミャンマー友好親善・平和祈念という主旨のもと、出征の港を見下ろす門司区めかり山頂に建てられました。後世に伝える平和への強い願いが、パゴダの建意意味そのものです。平和を祈る場所・パゴダにて、登録有形文化財の認定を記念したコンサートを開催いたします。皆様是非パゴダにお越しください。

### 関門海峡合唱団

かんもんかいぎょうがっしょうだん

私たち関門海峡合唱団は「関門地域の魅力を両岸市民の歌声で発信」し、ハーモニーを通じて関門の未来に貢献できるような活動を日指しています。世界平和パゴダは建立63年が経ち、天井雨漏りや外壁剥がれなど、老朽化から建物修繕の必要に迫られています。そのため、私たちはこれまで2016年と2018年に支援チャリティーコンサートを開催し、パゴダ修繕維持費用等に役立てていただく為、全額寄付するなど支援してきました。平和への祈り・戦争で亡くなられた英霊たちの「命」が宿るパゴダ。これからも、私たち一人ひとりの手でパゴダを支えましょう。登録有形文化財認定をお祝いするこの機会に、是非パゴダにご来場ください。



関門海峡合唱団

牟田 裕  
シンガー  
プロデューサー  
楽曲制作

荒川 砂代子  
指揮者  
ソプラノ

<賛助出演>  
岩佐裕子(ピアニスト)  
松浦美穂(ソプラノ)  
アンサンブル長谷

<予定曲目> 関門の歌声・門司市歌・平和への祈り・明日に架かる橋など

合唱団HP: <https://kanmonkaikyouchoir.jindofree.com>

【お問い合わせ】関門エンターテイメント TEL:080-1740-9243

企画・主催・プロデュース：牟田裕 共催：関門海峡合唱団チャリティーコンサート実行委員会  
後援：北九州市、北九州市教育委員会、下関市、下関市教育委員会

【チケット取扱い】門司市民会館、BRASS門司港、オープン化粧品門司営業所、関門モーターズ、  
下関市生涯学習プラザ、株式会社サンレー (企画課)





## 関門海峡合唱団

2012年8月4日(橋の日)、「下関と門司で関門海峡を挟んで向かい合い関門の歌を合唱しよう」というプロジェクトとして誕生。  
2013年5月、両岸に正式な合唱団を発足。関門アンセムを海峡両岸で歌う活動が注目され、NHK「あさイチ」「おはよう日本」BSプレミアム「新日本風土記」等で全国放送。関門の魅力、歌声を発信しています。私たちと一緒に歌いましょう！



クリスマスコンサート



火の山ロープウェイ開業60年記念



世界平和パゴダ支援コンサート



北九州市ノーフォーク市姉妹都市60年

合唱メンバー募集！ 関門海峡合唱団ホームページよりお問い合わせください

### 《世界平和パゴダ 建立に至るまでの主な出来事》

(参考資料:市原瑞麿氏著「パゴダへの道」)

- 昭和29年2月15日 市原瑞麿氏:「戦没者未帰還遺骨収集」および「慰霊仏塔・平和パゴダ建立」発願  
昭和30年7月 市原氏:ビルマ戦没者慰霊会総務部長、遺骨収集促進団体「ビルマ・マンダレー会」会長  
昭和31年2月 市原氏:ビルマ方面戦没者遺骨収集に参加  
昭和31年6月10日 市原氏:和布刈公園隣接の筆掛山山頂にパゴダ建立を直感する  
昭和31年8月13日 パゴダ建設地3,012坪(筆掛山)市原瑞麿氏 買収登記  
昭和31年9月1日 門司世界平和パゴダ建立委員会設立(会長:柳田桃太郎 門司市長)  
昭和31年9月 建設地 整地工事開始、地鎮祭執行  
昭和31年11月18日 ビルマ政府仏教会とパゴダ建立について調印(市原瑞麿氏):首都ラングーンにて  
昭和31年12月12日 僧院工事開始、施工:福屋建設(株)  
昭和32年5月13日 ビルマ政府仏教会ウ・チャントン使節団9名 来門  
昭和32年9月1日 パゴダ建設工事開始 施工:中和建設工業(株)  
昭和33年9月9日 パゴダ工事完成 落慶式執行  
建設費(当時):4000万円(ビルマ政府仏教会2000万円・門司世界平和パゴダ建立委員会:2000万円)

日本遺産 JAPAN HERITAGE

関門“ノスタルジック”海峡

～時の停車場、近代化の記憶～

Kanmon "Nostalgic" Straits - Memories of Japan's modernization frozen in time -

日本遺産 関門“ノスタルジック”海峡

公式ホームページ



### 〈日本遺産(Japan Heritage)〉

「日本遺産(Japan Heritage)」とは、地域の文化財と歴史、伝承、風習などをひとつのストーリーにまとめられたものを、文化庁が認定したものです。「関門“ノスタルジック”海峡～時の停車場、近代化の記憶～」は、門司港駅(北九州市門司区)、旧若松古河鋳業ビル(同若松区)や旧下関英国領事館(下関市)など関門海峡を巡る42件の構成文化財からなるストーリーが平成29年に認定されました。世界平和パゴダも構成文化財のひとつです。

### 〈関門“ノスタルジック”海峡～時の停車場、近代化の記憶～〉

関門海峡には、外国船がもたらした舶来文化が根付き、狭い海峡を外国船が行き交う景観の中に、日本が近代国家建設へ向け躍動した時代のレトロな建物群が現在も大切に残されています。「海峡七路」を使って両岸を巡れば、まるで映画のワンシーンに紛れ込んだような、ノスタルジックな街並みに出会うことができます。